

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2026年6月30日	
(あて先) 旭川市長	
提出者	
住 所 旭川市曙1条1丁目1番1号	
氏 名 旭川赤十字病院 院長 真名瀬 博人	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0166-22-8111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭川赤十字病院
事業場の所在地	旭川市曙1条1丁目1番1号
計画期間	2026年4月1日から2027年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	一般病院
②事業の規模	520床(内70床休床)
③従業員数	1,128人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物 2025年4月1日～2025年10月31日 収集・運搬・中間処理 合同会社ESG → 最終処分(管理型埋設) 環境エンジニアリング株式会社・角山開発株式会社・環境サービス株式会社 2025年11月1日～2026年3月31日 収集・運搬 福興産業株式会社・エア・ウォーター物流株式会社→中間処理 株式会社アシスト・株式会社リプロワーク→ 最終処分(管理型埋設) 環境エンジニアリング株式会社 キシレン・シアン化合物・アルコール・試薬・ホルマリン 収集・運搬 エア・ウォーター物流株式会社→中間処理 JX金属苫小牧ケミカル株式会社→最終処分日鉄セメント株式会社

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙参照			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	排 出 量	756.3 t	3.8 t
	(これまでに実施した取組) ・ 部署ごとの月間感染性廃棄物排出量の掲示 ・ 廃棄物の分別の推進 ・ 廃棄物分別マニュアルの見直し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	排 出 量	741.1 t	3.7 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物分別教育、啓蒙活動の実施 ・ 廃棄物処理委託業者による、セミナーの実施 ・ 廃棄物削減目標 2%		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 医療廃棄物内の感染性廃棄物と医療系廃プラスチックの分別		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 適正な分別や排出量削減に向けた周知をおこなう		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
	全 処 理 委 託 量	756.3 t	3.8 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	310.2 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 廃棄物処理場視察（適正な処理が行われているか確認）		

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油・排酸
		全 処 理 委 託 量	741.1 t	3.7 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	741.1 t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物処理場視察（適正な処理が行われているか確認） ・ 廃棄物処理業者による廃棄物分別セミナー ・ 適正な分別がされているか巡視		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

① 現状

特別管理産業廃棄物の種類		感染性産業廃棄物	引火性廃油・廃酸							
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 (t)	756.3	3.8							
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (t)									
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 (t)									
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 (t)									
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 (t)									
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 (t)									
	優良認定処理業者への処理委託量 (t)									
	再生利用業者への処理委託量 (t)									
	認定熱回収業者への処理委託量 (t)									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)									

② 計画

特別管理産業廃棄物の種類		感染性産業廃棄物	廃油 (揮発油類 (キシレン))							
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 (t)	741.1	3.7							
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (t)									
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 (t)									
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (t)									
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (t)									
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 (t)									
	優良認定処理業者への処理委託量 (t)									
	再生利用業者への処理委託量 (t)									
	認定熱回収業者への処理委託量 (t)									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)									

※廃棄物の種類は、排出する種類に応じ、適宜修正し記載してください。